

イフジ産業（株）に対し、 「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」および 「地域元気プログラム」に基づく融資を実施 —福岡県の食品製造業界で初のDBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付の取得—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、イフジ産業株式会社（本社：福岡県糟屋郡、代表取締役社長：藤井宗徳、以下「当社」という。）に対し、「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」（以下「DBJ健康格付」という。）および「地域元気プログラム」に基づく融資を実施しました。

「DBJ健康格付」融資は、DBJが開発した独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しするDBJ独自の融資メニューです。九州支店では、「独自の成長戦略を有する地場企業の競争力強化」をテーマの一つとして、北部九州エリアの企業に対して、情報面・資金面でのサポートに取り組んでいます。

当社は、製菓・製パン、マヨネーズ向けの液卵（注1）製造を主業とする、独立系最大手の液卵メーカーです。全国4工場体制で、安定的に液卵を供給し、わが国の豊かな食生活に広く貢献しつつ、従業員の健康管理等を経営的な視点で捉え、健康経営にも戦略的に取り組んでおります。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 働き方の多様性や離職率の低下に向け、総務部を中心に健康経営施策に係る中期方針を策定し、コミュニケーションシートの導入等、社風調査から得た従業員の意見を反映した具体的施策を実施している点
- (2) 毎月開催している事業部長会議にて各事業部での定期的な工場内巡視等、安全衛生活動についてマネジメントレビューを実施し、リスク低減と包括的な安全の確立に向けて取り組んでいる点
- (3) 社内イントラネットを通じた提案制度を設け、生産性や業務効率の改善に資する従業員の自発的な発案を促進していることに加え、社内託児所を各事業所に設置する等、働きがいと働きやすさ向上に向け、独自の施策に注力している点

なお、福岡県の食品製造企業における「DBJ健康格付」取得は今回が初めての事例となります。

また、当社は、近年、HACCP（注2）に準拠した工程管理体制の構築、最新鋭の新型割卵機の導入等を通じ、顧客ニーズに合わせた独自の安定供給体制の構築を進めており、九州地域の重要産業である食分野のさらなる成長ならびに地域雇用機会の創出等に貢献しています。今般、係る取り組みを「地域元気プログラム」の対象として認定し、融資を実施しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、健康経営に向けたお客様の取り組み、および地域の成長に資するお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

（注1）「液卵」：鶏卵を割って中身を取り出したもの。当社では、顧客の用途に合わせて様々な方法による殺菌対応や、卵黄・卵白の分離等、多彩な加工を行っている。液卵を活用するメリットとして、作業効率の向上(割卵の手間が省け衛生的)、品質の安定(製品の均質化が図れる)、経済性(原材料費の不安定さを抑える)、貯蔵性(凍結すれば長期保存が可能)、作業環境の向上(保管および輸送の効率化、二次汚染防止)等が挙げられる。

（注2）「HACCP」：Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保する衛生管理の手法のこと。

【お問い合わせ先】

九州支店 電話番号 092-741-7734